



一般社団法人 山口県作業療法士会

それっちゃ Yamaguchi



それっちゃデジタル版

巻頭言	2
研修会案内	3
部会より	7
事務局より	11
新理事紹介	12
しっちょる	13
編集後記	14

巻頭言

人とのつながりを大切に！



所属：萩市国民健康保険 弥富診療センター
氏名：赤木 正雄

師走を迎え、皆様におかれましてはますますのご清栄のこととお喜び申し上げます。今年も1年お世話になりましたこと感謝申し上げます。

上記の酔っ払いオヤジ達の写真（皆さんには了解を得ています）は、私のリハ学校からの同級生との集まりの1ページになります。今秋、別府の某ホテルに家族共々集まってリフレッシュしている写真です。卒業して20年以上経ちますが、今なお毎年集まって楽しめる仲間がいることにとても感謝しています。それぞれ起業したり、事務長になったり、学会で発表したり、絵画にはまり仙人のようになり、50歳手前で結婚、新築、子が誕生したり、山口、福岡、佐賀、熊本と働く地域は違いますが、それぞれが活躍している誇れる仲間たちです。

人との出会い、つながりは大切な財産である、などよく聞くことですが、それを続けていくことの方が難しく大事なことだと感じています。司馬遼太郎は『世に住む日々』で、革命には三世代必要と言っています。吉田松陰などの第一世代は、新しいことに取り組み変人扱いされながら土壌を作り、高杉晋作などの第二世代がそれをかたちにして、伊藤博文などの第三世代が定着させていくことで革命は成る、といったことだったと思います。地域包括ケアの土壌も徐々に広がりつつありますが、作業療法士も病院だけでなく地域で活躍するための改革の途中といえるかもしれません。この改革を続けていくためには、世代を超えて協力していくことが必要なのだと思います。

昨年、40周年を迎えた山口県作業療法士会も、歴々の会員の方々の活躍があり、今の立場があります。そして、一人 OT 職場でやってきた自分も、今の世代から次の世代へ繋げていくことを考えながら活動していかなければいけないと思うようになりました。そのためには、結局、今、自分ができることをする、できないことは周りに頼ること（自分には、頼ることがなかなか難しいのですが…）、なのかな、と思います。

人とのつながりを大切にしつつ、今できることをする。さて次は仲間たちとどこに行こうか。

研修会案内

県士会主催の研修会案内

精神部会研修会案内

令和6年度精神部会では、講師に吉南病院の池田晶代 OTR(動機づけ面接トレーナー<MI:Motivational Interviewing>)を迎え、「動機づけ面接」について対面式での研修を行います。クライアント自身の内発的動機づけを治療者がどのように引き出し、支援していくかなど臨床に汎化できる実践的な研修です。新人からベテランまで、領域を問わず、より多くの皆様のご参加をお待ちしています。

1. 日 時：令和7年1月19日（日）10時～12時（受付9時30分～）
2. 会 場：山口県立こころの医療センター（宇部市大字東岐波 4004-2）
3. 対 象 者：山口県士会員
4. テ ー マ：「動機づけ面接について」
5. 講 師：池田 晶代 先生（医療法人和同会 吉南病院 作業療法士）
6. 参 加 費：無料
7. 申込方法：<https://forms.gle/nUB9ZUZx2gSWxm668> より必要事項を記入して下さい。（添付のQRコードからも申込可能）
8. 申込期限：令和7年1月10日（金）まで
9. 問合せ先：山口県立こころの医療センター OT 渡邊
E-mail：kokoro.ot@ymghp.jp 当日連絡用 TEL：050-3199-1570

※連絡事項：

- ① 申込後、確認用のメールが送信されます。届かない場合は、申込時のメールアドレスが違っている可能性がありますので、再入力をお願いします。
※google.comからのメールがブロックされないよう設定をお願いします。何度入力しても確認メールが届かない場合は、担当者へお問い合わせ下さい。
- ② 複数回入力された場合は、最後の入力を有効とさせていただきます。
- ③ 申込時の会員情報（会員番号・氏名等）は、日本作業療法士協会に登録したものと同一ものを入力してください。以下のURLより確認をお願いします。
<https://www.jaot.net/mm/#/login> 適切に入力されないと生涯教育システムへ登録出来ません。
- ④ 研修会受講時には当該年度有効の県士会会員証と協会会員証を提示してください。会費納入が遅れ、会員証を受けとっていない方は振込受領書を提示して下さい。提示が出来ない場合は生涯教育ポイントの発行は出来ません。



令和6年度 学術部主催 「9.事例検討 10.事例報告」のご案内

この度、学術部主催で現職者共通研修（9.事例検討 10.事例報告）を行います。2025年度から作業療法士協会の生涯教育制度が新生涯学修制度に変更となります。現存の現職者共通研修（9.事例検討 10.事例報告）を受講されていない方は、受講する最後の機会となりますので、教育体制が変更となる前に受講してみたいかご検討ください。ご参加をお待ちしております。

記

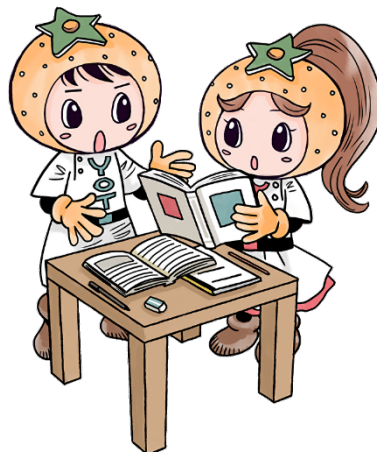
1. 日 時：令和7年3月9日(日) 10:00～15:00(受付9:30～)
2. テーマ：9.事例検討 10.事例報告
3. 形式：対面(会場：山口県立総合医療センター)
4. 定 員：発表者12名(希望者が多い場合は抽選で決定します。9.事例検討を希望される方の人数制限はありません)
5. 参加費：山口作業療法士会 会員300円 非会員1500円(終日一律)
(参加費は返信用メール記載のURLからPassMarketを通じてお支払い下さい)
6. 参加条件：
 - 【9.事例検討のみ履修を希望の方】
 - ・「8.事例検討方法論」まで履修済みであること
 - ・研修内で必ずディスカッション(質疑や発言)をすること
 - 【10.事例報告のみ履修希望の方】
 - ・「8.事例検討方法論」「9.事例検討」まで履修済みであること
 - ・発表方法：パワーポイント 提出用レジュメA3 1枚
 - ・発表時間：1名10分+質疑応答20分
 - ※申込時に発表テーマ(タイトル)もお知らせください。なお、レジュメの提出は2月21日までに問い合わせ先のメールアドレスへ送信してください
 - 【9.事例検討 10.事例報告を同日に履修を希望される方】
 - ・「8.事例検討方法論」まで履修し「9.事例検討」「10.事例報告」を希望の方
 - ・午前に「9.事例検討」を履修し午後「10.事例報告」を履修となります
7. 申込方法：<https://forms.gle/B4mMhFY87AjiFr4x6>
8. 申込締切：令和7年2月8日(土)

問い合わせ先

山口県立総合医療センター

リハビリテーション部 藤村 圭介

Tel : 0835-22-4411 E-mail : rihabiri@ymghp.jp



令和6年度 MTDLP 書き方研修会のご案内

1. 日 時:令和7年1月25日(土) 10時~12時 (受付9時30分~)
2. 会場(形式):こころの医療センター 会議室(対面)
3. 対 象 者:県士会員でMTDLP基礎研修修了者 ※受講年度は問いません
4. テー マ:「MTDLP書き方研修会」~担当事例をMTDLPシートに書いてみよう~
※協会HPより、MTDLPシート(MTDLPアセスメント演習シート、プラン演習シート、生活行為課題分析シート)をダウンロードし、研修会までにMTDLPシートの作成を行って下さい
5. 講 師:MTDLP指導者 山田 晃基(一般社団法人巨樹の会 下関リハビリテーション病院)
6. 参加費:無料 ポイント 1P付与
7. 参加定員:5名 ※定員になりしだい締め切り
8. 申込締切:令和7年1月18日(土)
9. 申込方法:<https://forms.gle/aDGyMAeX4JPJrced7>
より必要事項を記入して下さい。また、添付のQRコードからも申込可能です。

【備考】

ご参加の皆様的事例を用いた研修会となります。個人情報の取り扱いにつきましては氏名や居住地域が特定されない様、ご配慮をお願い致します。また、本研修会でご提示頂いた情報につきましては、研修会以外での使用はありません。

<注意事項(重要)>

2025年度以降、MTDLP事例報告における審査体制を改める方向性が示されています。それに伴い、2024年12月をもってMTDLP事例報告の新規受付が一旦終了されます。また、2025年度以降のMTDLP事例報告では、現行の「同意書」では申請が出来なくなります。したがって、今回持ち込んで頂く事例を報告する場合、2025年度以降のMTDLP事例報告になるとともに、新たな形式の同意書で同意を取り直す必要がでてきます。また、審査体制の変更に伴いシート形式の一部変更された場合、新たなシートへの転記も必要となる可能性があります。

<問合せ先>

一般社団法人 巨樹の会 下関リハビリテーション病院
リハビリテーション科 山田 晃基
TEL:083-228-6600 E-mail: rehaka@shimoreha.jp



申し込み QRコード

山口地区勉強会のご案内

この度、山口地区勉強会を久しぶりの対面にて開催することにいたしました。内容は「訪問アセスメントフォローアップ研修」として、山口市、防府市で行われているケアマネージャー同行訪問アセスメントについて、事例を通じた訪問時のアセスメントや提案方法などのスキルアップを目的としています。

実際に出務されている方だけでなく、訪問アセスメントに興味がある方も参加していただくことも可能です。皆様のご参加をお待ちしています！

1. 日 時:令和7年1月17日(金) 19:00~20:30
2. 場 所:山口コ・メディカル学院
3. 対 象 者:山口県作業療法士会会員(山口地区以外からの参加も可能です)
4. 内 容:訪問アセスメントフォローアップ研修
事例提供者 山口県立総合医療センター 木原 涼子 OTR
5. 参加費:無料
6. 申込方法:Googleフォームより申し込み
<https://forms.gle/4ZxfqxJjsQWPRFKA8>
7. 申込締め切り:令和7年1月14日(火)
8. 注意事項:対面研修のため当日、日本作業療法士協会と山口県作業療法士会の会員証を提示していただきます。忘れないように持参してください。
9. 問合せ先:山口地区勉強会担当 介護老人保健施設みのり苑 柳井 勇樹
E-mail: minorien@ogoridaiichi.jp TEL:083-973-3161 当日連絡用:090-6837-9387



他団体主催の研修会案内

第1回山口ハンドクラブ

1. 日 時：令和6年12月14日（土）
2. 場 所：小郡第一総合病院 5階 大会議場
山口県山口市小郡下郷 862-3
3. 時 間：14:30 から 18:00
4. 申し込み：当日受付
5. 参加費：医師 1000 円，コメディカル 500 円
6. 日 程：症例検討（14:30 から 16:30）10 演題程度
特別講演（16:40 から 18:00）
手部重度外傷に対する手の造形手術と関連した神経障害性疼痛
講師 大阪掖済会病院 手外科・マイクロサージャリーセンター
五谷寛之先生

平素よりお世話になっております。山口ハンドクラブの開催が決定しましたので謹んでご案内申し上げます。医師を中心として手外科疾患，上肢の整形外科疾患の勉強会となります。若手から経験豊富な先生まで奮ってご参加下さいませようお願い申し上げます。

山口県済生会下関総合病院 梶田芳徳

第12回中部日本ハンドセラピー研究会

1. テーマ：「明日から活用できるハンドセラピー」
2. 会 期：令和7年1月25日
3. 代表世話人：池本和子（神戸労災病院）
4. 会 場：京都テルサ（京都市南区）
5. ホームページ：<http://chubu-nihon-handtherapy.kenkyuukai.jp/> ※詳細はHPより
6. 内容（仮題）：

特別講演	ハンドセラピストへ求めるもの	南川義隆先生(南川整形外科 院長)
教育講演Ⅰ	ハンドセラピーの臨床について	蓬萊谷耕士先生(関西医科大学)
教育講演Ⅱ	臨床研究方法について	車谷洋先生(広島大学)
実践セミナー	超音波の基礎知識	高瀬史明先生(神戸労災病院)
	スプリント療法	岡野昭夫先生(中部大学)
動画症例報告	骨折のハンドセラピー	田村裕子先生(北摂総合病院)
	屈筋腱損傷のハンドセラピー	稲垣慶之先生(名古屋掖済会病院)
	肘関節疾患のハンドセラピー	内屋純先生(岐阜県総合医療センター)
	拘縮のハンドセラピー	茶木正樹先生(中日病院)

第 12 回 維新リハビリテーション研究会 開催のお知らせ

平素より当研究会にご支援頂きまして誠にありがとうございます。

第 12 回 維新リハビリテーション研究会を下記の通り実施致します。要項をご一読のうえ、下記 QR コードより参加案内希望のご登録をお願い致します。ご登録頂きましたアドレスに当日の案内をお送りいたします。前回までの募集にてご連絡を頂いた先生は、ご登録は不要です。

1. 日 時：令和 6 年 12 月 18 日（水） 18:30 から 20:00
2. 開催形式：Web（ZOOM）
3. 参加費：無料
4. 生涯教育：日本作業療法士会 基礎ポイント 1 ポイント
5. 内 容：脳血管障害 各論：「右半球損傷の高次脳機能障害①」
整形外科 各論：「拘縮の病態と治療」
6. 講 師：森脇 善幸：みなくるはうす下松
認定作業療法士
梶田 芳徳：済生会下関総合病院
認定ハンドセラピスト 認定作業療法士



申し込み QR コード

7. 注意点

参加証明書配布のためインターネット環境下の PC で参加をお願いします。

1 名につき 1 つのアドレスでご登録下さい。

病院、施設などのアドレスは避け、個人のメールアドレスをご登録ください。

複数人での視聴は可能ですが、ポイントはご登録のアドレスの方のみとなります。

講義中に提示したスライドなどの資料配布はありません。

8. 問い合わせ先

維新リハビリテーション研究会 森脇 善幸（もりわき よしゆき）

メールアドレス：ishin.rehabili@gmail.com

部会・委員会より

令和年 6 年度大規模災害発生を想定した シミュレーション訓練のお礼

この度は、大規模災害発生を想定したシミュレーション訓練へのご協力ありがとうございました。結果については、返信確認 507/995 人(返信率 51%)、施設返信 104/220(同 47%)となりました。昨年とほぼ同程度の返信率となっています。

今回の返信の中で、「当日休みの会員との連絡について施設内で検討していきたい」「日頃から準備して冷静に対応できるようにしたい」など前向きなコメントを頂き、また、中国地区合同研修会では、山口県士会の返信率の高さに他士会から感心を頂きました。会員皆様の力をとても心強く感じています。

この事業については、協会と協力しながら、災害発生時に会員の安否確認をし、県士会として被害状況の把握や支援を考えていくこと、災害支援体制を整えていくこと、普段から会員の皆様に災害発生時の活動について関心を持っていただくことを目的に実施しています。会員皆様におきましては、余裕を持って確実に安否を確認して返信して頂きたいと思っております。

つたない運営で、心許ないところもあるでしょうが、今後も、ご協力よろしくお願ひいたします。訓練のご協力ありがとうございました。

災害対策室

【機関誌発行委員会からのお知らせ】

第35回山口県作業療法学会の機関誌（学会誌）については、前回と同様に山口県作業療法士会のホームページから閲覧できる予定です。閲覧にはパスワードが必要となり、県士会の会員証にパスワードが記載されています。

紙媒体の機関誌発送については、「それっっちゃやまぐち」を受け取っている施設へは同封し、それ以外の施設には個別に発送します。また、個人希望者には後日メールにて連絡します。機関誌（紙媒体）の個人希望者は、以下のGoogleフォームよりお申し込みください。

山口県OT協会 HPから学会誌が閲覧できます

1. 下記HPより  の学会誌に入り
2. パスワードを記入
(パスワードは会員証に記載)



第35回山口県作業療法士会機関誌（学会誌）紙媒体申し込み

学会誌 紙媒体希望者

申し込み方法：

（<https://forms.gle/jpNjEC85KqMe9cQ96>）より必要事項を記入してください。

QRコードからも申し込み可能。

申し込み期間：

令和6年11月5日～令和6年1月30日



お問い合わせは下記までご連絡ください。

機関誌発行委員会 担当：上田，嵐川
メール：yotkikanni@gmail.com

学会終了のご報告



ポスター発表



精神領域ワークショップ



基調講演



口述発表



小児領域ワークショップ



シンポジウム

令和6年10月20日、周南市にて第35回山口県作業療法学会を開催しました。皆様の温かいご支援とご協力を賜り、約150名のご参加をいただき、盛況のうちに無事に終了することができました。

今回の学会では、演題投稿時の規定変更や、学会プレ企画、ワークショップの開催等、新たな変化を生むことができたのではないかと思います。

県士会における学会の役割は、県士会員の知識の普及と向上、県内で研究発表できる場の提供、地域ニーズへの対応、また次世代の会員に対しての育成と横の繋がりの支援ではないかと考えています。

今回の学会のテーマもその役割を意識したテーマとし、多くの学びを得られるような企画を提供し、結果として多くの参加者にご来場いただけたのではないかと思います。

この学会での経験や出会いが、会員皆様のこれからの活躍の糧になっていただければ幸いです。

来年度も学会に足を運んでいただき、実りある学びや出会いを経験しましょう！

学会参加者の声

今回、作業療法士になって初めて学会に参加しました。

これまでの学会のイメージは堅苦しく、偉い先生方の集まりだと思っており、とても敷居の高い場であると感じていました。初参加、初運営スタッフで、自分にスタッフが務まるか、学会で何か学べることがあるのか、当日を迎えるまでとても不安でした。

講師の先生のお話をはじめは難しかったのですが、聞いていると多職種連携の意味や、身体障害・精神障害・小児・地域のそれぞれの分野はバラバラではなく、シームレスであるべきだということを強く思いました。

とても楽しかったので次の学会も是非参加してみたいと思いました。また、そのときは積極的に声をかけ、県内で働く作業療法士の仲間をもっと増やしていきたいと思いました。この度は貴重な経験を提供していただき、ありがとうございました。

山尾 智美

今回の学会に参加させていただき一番印象に残った部分は地域との関わり方をどのように活かしていくのかという自分にとって大事な課題のヒントになった事でした。

3名のどの先生方も作業療法士としての役割を地域にどう上手く活かしていくのか選択肢は無数にあると強く思わされたお時間でした。

自分も作業療法士として地域の方お一人お一人とどう関わり、今後活かしていくのかと今の自分の課題のヒントになった部分が多くあったお時間でもありました。

今回、学会に参加し作業療法士の存在やどのように支援を行っていくのかという重要性を強く感じ、日常でも一つの声掛けだけでその方の人生が変わるかもしれないと思いながら、日々働かなければいけないと思いました。

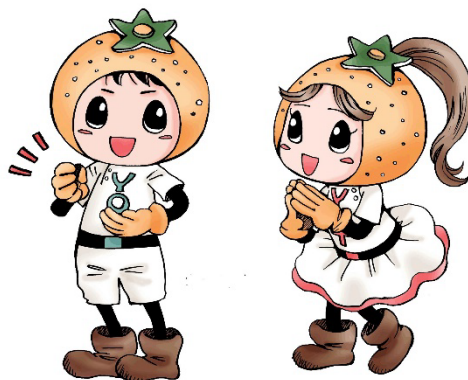
田中 優大

今回初めて山口県作業療法学会に参加し、大変貴重な体験やお話をお聞きすることができました。

学会で個人的に共感できると感じたのは基調講演での OBP2.0 のお話でした。私のいる職場でもお互いに意見が合わなくなり、一歩引いてしまうような経験があった為です。また私自身も支援方針で迷いがあった為にうまく説明ができないようなことがあります。今回はそのような経緯があった為、信念対立に焦点を当てた考え方は驚きでした。上記のように自分のしていることに迷いがあった為、自分の支援の仕方を「作業に焦点化した実践」や「作業に根差した実践」などで考えていく事は私にとって必要な考え方だったのではないかと感じました。

今回沢山の作業療法の先輩方の貴重なお話を聞いた良い経験になりました。これからの活動に取り入れていきたいと感じるようになりました。

森野 渉



事務局より

着文書

(R6.10.12~R6.11.8)
 <他県士会ニュース>
 福岡県 会報第 157 号
 石川県 ニュース第 132 号
 兵庫県 ニュース№81
 秋田県 ニュース Vol.41
 群馬県 ニュース第 158 号
 長野県 ニュース№235
 広島県 会報 256 号
 北海道 ニュース第 176 号

<冊子・パンフ等>
 山口県看護協会 きらめき vol160

施設情報

施設情報
 <新規施設>
 (山口地区)
 介護老人保健施設ハートホーム山口
 〒753-0813 山口県山口市吉敷中東 1-1-2
 TEL : 083-933-6000 FAX : 083-933-6007



財務より

正会員の方へ本年度お送りした振込用紙は、使用期限が6月末までのため、現在は使用できません。

会費の納入がまだの方は、郵便局の振込用紙を利用して、至急振込をお願いします。

- ・振込用紙に会員氏名・OT協会会員番号、**金額 8,000 円**と記入し下記へ振り込んでください。
- ・**会員証が届くまでは、払込受領証を必ず保管**しておいてください。

郵便振替口座

口座番号 : 01590-5-11556

加入者名 : 山口県作業療法士会

ゆうちょ銀行

一五九支店 当座預金 0011556

加入者名 : 山口県作業療法士会

お問い合わせ先 : 山口県作業療法士会事務局

TEL : 083-920-0171

*職場の異動などがある場合、振込用紙に変更事項の記入だけでは会員データが更新されません。異動届の提出をお願いします(県士会のホームページからも変更出来ます)。

年会費が施設負担になっている会員の方へ

来年3月下旬に令和7年度会費振込用紙の発送を予定しております。(コンビニ専用振込用紙)年会費が施設負担になっている施設所属の方には、施設宛の請求書とともに郵便局専用の振込用紙を送付いたします。個人あての振込用紙は送付しません。施設によってルールがそれぞれですので、年会費施設負担の場合でも個人宛のコンビニ専用振込用紙の方が都合がよい場合は、1月末までに事務局までご連絡ください。

施設単位でお申し出ください。その場合は原則施設宛の請求書は発行いたしませんので、請求書が必要な場合は、その旨ご連絡ください。

休会申請についてのお知らせ

山口県作業療法士会では正会員の特例として休会の取り決めがありますが、この申請は以下の通りとなっております。申請希望の方は必要書類を期間内に提出する必要があります。
(令和7年度の休会希望の方は、R7年1月31日までの届け出が必要です。)

<休会理由>

以下の理由の場合に休会の申請が可能です。

- ①出産・育児、介護 ②長期の病気療養 ③その他理事会において承認された理由

<期間・回数>

- ・4月1日から3月31日までの1年単位で、最大5回までです。

<申請・条件>

- ・次年度4月からの休会を希望する人は前年度の1月31日までに必要書類をそろえて申請し理事会で承認を得ることが必要です。

[必要提出書類…①休会申請書 ②休会理由の根拠となる証明書(様式問わない)]

- ・休会しようとする年度の前年度までの会費が完納されていることが必要です。

<義務の免除>

- ・休会期間の会費納入の免除

<権利の停止>

- ・休会期間中、以下の権利が停止します
選挙権・被選挙権、総会での決議権、本会が主催する学会・研修会の参加、
スポーツ安全保険の加入、機関紙・学会誌・その他士会発行物の受取

<会員履歴等の取扱>

- ・休会期間は正会員としての在籍年数に算入されません
- ・休会期間中の研修受講履歴は無効です

<復会>

- ・休会延長の手続きを行わない場合は、翌年度から自動的に復会となります。
(休会を継続希望の場合は、再度、対象年度の前年度の1/31までに申請手続きを行う必要があります)

*** 分かりにくい点・ご不明な点がございましたら、事務局へお問い合わせください。**

新理事しっちょる？



三宅真寿美 (みやけますみ)

岩国市岩国第一地域包括支援センター

今年度より岩国地区の理事をさせて頂いております。
岩国に住み始めて、もうすぐ四半世紀に…。もうすっかり岩国弁が染みついてしまっています(笑)。岩国は色々な文化交流があり、その魅力ある地域で包括業務をしています。仕事内容は多岐にわたりますが、OTの視点で見ると、人と暮らしのつながりがよく感じられます。まだ踏み入れたばかりの職域ですが、地域で感じる風を県士会活動に役立てればと思います。
仕事以外では、地元の吹奏楽の楽団で音楽を楽しんでいます。チーム内での役割を果たしたり、調和を図るという点では共通することが多いです。県士会会員の皆様の橋渡しのお手伝いができるようがんばります。



話のネタの
豆知識！

しっちよる？



冬になり、多くの家庭でコタツが活躍している時期になりました。コタツに入って食べる者といえ
ば一番に「みかん」があがるのではないのでしょうか？

みかんは日本の冬を代表する果物といっても過言ではありません。とくに「温州みかん」が有名
で、その名前は中国の浙江省（せっこうしょう）の温州地方に由来しますが、温州みかんは日本で生
まれた品種のみかんであり、原産地は鹿児島県の長島といわれています。長島町は中国との交易が盛
んであり、中国から伝えられた柑橘類から派生した新しい品種が、温州みかんであるとされます。そ
のため、アメリカをはじめとする海外では、温州みかんのことを「**Satsuma orange**」と呼ぶのだ
そうです。

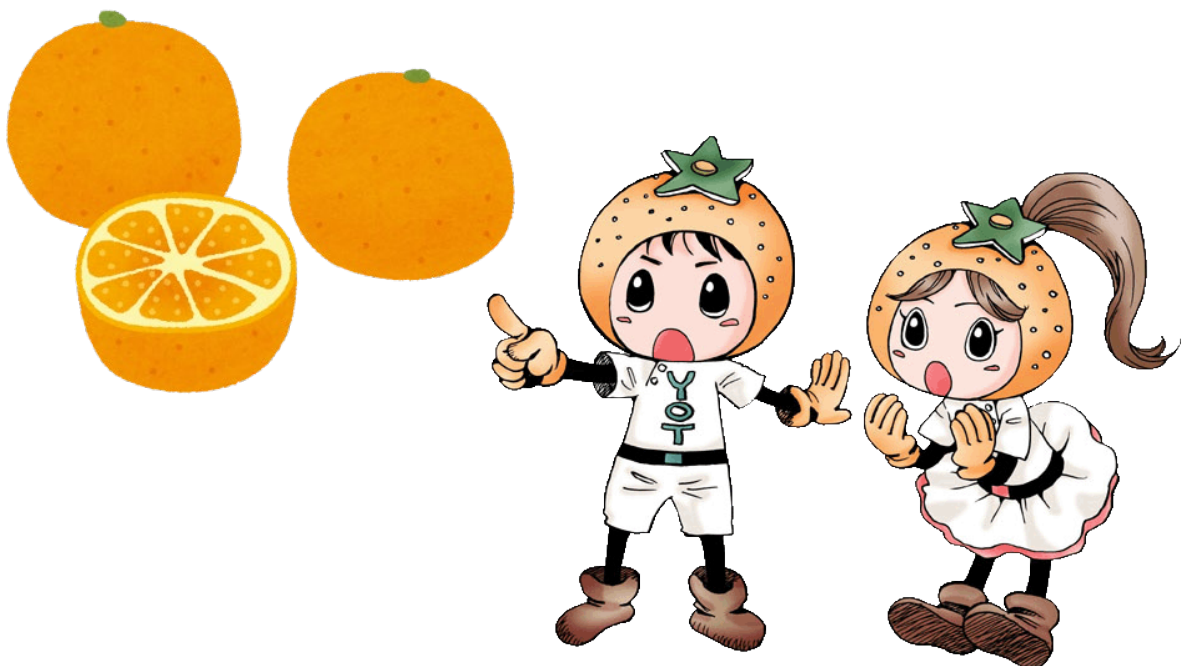
現在、温州みかんの三大産地は、和歌山県、愛媛県、静岡県となっており、この3県で日本全体の半
数以上（52%）の生産量を占めています。

ちなみに山口県は全国 17 位の生産量を誇っており、周防大島町は県内全体の約 8 割を担う一大産地
となっています。

おいしい温州みかんを見分けるには、以下のポイントがあるそうです。

- ・へたが小さく色が黄色いこと
- ・皮がうすく色が濃いこと
- ・はりがあり引き締まった形をしていること
- ・皮のつぶつぶ（油胞）がきめ細かいこと

おいしいみかんを食べて、自分も山口県も元気にしましょう！



記事の掲載依頼について

☆ 原稿締め切り日は定例で毎月第2日曜日としております。(変更の場合あり)
 次回1月号(No.348)は令和6年12月8日が締め切りで、発行日は令和7年1月6日頃です。
 記事掲載希望の方は下記E-MAILアドレスへ送ってください。

E-mail: yot_news@hotmail.co.jp

(書式はWord、フォントは明朝10.5P英数字は半角でお願いします。)

*編集の都合上、レイアウト等一部変更させて頂くことがあります。ご了承ください。

☆ ニュースに対するご意見、ご感想をお待ちしています。

<県士会ニュース編集委員会> 編集委員長: YICリハビリテーション大学校 石丸 拓也
 (TEL) 0836-45-1000 (FAX) 0836-45-1010



山口県作業療法士会
LINE公式アカウント



山口県作業療法士会
公式Instagram



それっっちゃデジタル版

【編集後記】

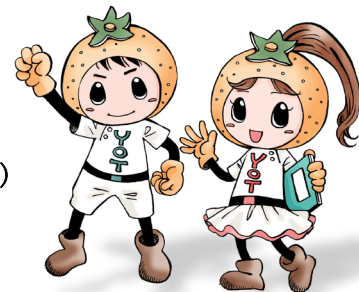
めっきり寒くなってきましたね。
 しもやけ族の私としては辛い時期になってきました。
 毎年この時期になると両足指にしもやけが出来、赤く腫れ、痛痒くなってきます。
 温めたり、マッサージしたり、内服したり・・・いろいろ試しますが、依然としてこの呪縛から逃れられません。
 どなたか良い改善方法があれば教えてください・・・(´;ω;`)

文責: 石丸



月1回発行

- 発行: 山口県作業療法士会 ニュース編集委員会
- 編集担当: 石丸 拓也 (専門学校 YICリハビリテーション大学校)
- 山本 隆次 (医療法人 愛の会 光風園病院)
- 吉長 卓真 (医療法人社団 宇部中央病院)
- 鍵本 州英 (介護老人保健施設 寿光園)
- 岡本 春奈 (リハビリデイサービスプラスワン)
- 印刷所: 社会福祉法人山口県コロニー協会経営 ワークショップ・山口 コロニー印刷



《一般社団法人 山口県作業療法士会 事務局》

〒753-0851 山口県山口市黒川 2572-1 メゾン西京 103

事務 児玉・岡崎(Tel/Fax: 083-920-0171 Mail: ymgc-ot@ymgcot.onmicrosoft.com)

Web: <http://www.y-ot.jp/>